

調 査 研 究 結 果

種目	道 徳	発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名
観 点	教科書名等 項 目	224・学研	道徳727	中学生の道徳明日への扉 1年
			道徳827	中学生の道徳明日への扉 2年
			道徳927	中学生の道徳明日への扉 3年
取 扱 内 容	地域への興味関心	第1学年	様々な形で日本文化に関わる人の姿を扱い、紹介したい日本の文化や伝統を考える活動等を取り上げている。	
		第2学年	金閣寺などの日本の文化財を再建する文章を扱い、日本の文化と伝統を守り、受け継いでいくために大切なことについて考える活動等を取り上げている。	
		第3学年	世界遺産である白川郷の合掌造りを扱い、白川郷のよさを考える活動等を取り上げている。	
	命の連続性	第1学年	命の偶然性、連続性、有限性とはどのようなことかや、自分にとって命よりも大切なものがあるとすれば、それはどのようなものかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、差別や偏見のない社会を実現するために、どのようなことができるかを考える活動を取り上げている。	
		第2学年	一人一人の生命のつながりとは、どのようなことかや生命は遠い昔から受け継がれ、次の世代へ渡されていくとは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、相手を尊重するとは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。	
		第3学年	自分に受け継がれたかけがえのない命を、どのように輝かせていきたいかや自分の命は、誰のものだろうかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、なぜ、人を差別したり、いじめたりしてしまうことがあるのかを考える活動を取り上げている。	
	自己肯定感・自己有用感の醸成	第1学年	スポーツ選手の努力し続ける姿を扱い、自分の長所や好きなところ、強みを考え、発表し合う活動等を取り上げている。	
		第2学年	サッカー選手が一級審判員のチャレンジする姿を扱い、夢を叶えるために大切なことは何かを考える活動などを取り上げている。	
		第3学年	金メダリストである伊調馨選手を扱い、気に入った言葉、気になる言葉を選び、自分を見つめる活動等を取り上げている。	
	生活習慣 (ゲーム・スマホ)	第1学年	スマートフォンの使用時間について扱い、望ましい生活習慣を身に付けることの重要性について考える活動等を取り上げている。	
情報化への対応	第1学年	SNSを扱い、友達とのやりとりでは、どのようなことに気を付けるとよいかを話し合う活動を取り上げている。		
	第2学年	メールやインターネットを扱い、匿名でのコミュニケーションで大切なことは、どのようなことかを話し合う活動を取り上げている。		
	第3学年	インターネットを扱い、ルールやマナーを守ると、どのようなことにつながるかを話し合う活動を取り上げている。		
男女平等	第1学年	校内合唱祭での男女のかかわりを扱い、異性についての理解や平等について考える活動等を取り上げている。		
	第2学年	幼なじみの男女二人の気持ちを扱い、男女の平等や友情について考える活動などを取り上げている。		
	第3学年	男女が好意を寄せながら互いに高め合う話を扱い、異性についての理解、平等、敬愛や協力について話し合う活動等を取り上げている。		

		いじめ問題への対応	<p>第1学年 SNSによるいじめを扱い、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現について考える活動等を取り上げている。</p> <p>第2学年 「怒りの温度計」を扱い、怒りの感情とその対処法を見つめられる活動などを取り上げている。</p> <p>第3学年 卒業文集に綴られた級友への後悔の話を扱い、どうすれば人間の醜さを乗り越えて「いじめ」をしない、許さない生き方ができるか考える活動等を取り上げている。</p>
内容の構成・排列、分量等	教材数	中心的に扱う教材	<p>第1学年 35（読み物35）</p> <p>第2学年 35（読み物35）</p> <p>第3学年 35（読み物35）</p>
		補助的に扱う教材	<p>第1学年 5（他5）</p> <p>第2学年 5（他5）</p> <p>第3学年 6（他6）</p>
		議論を行い自分との関わりで考察できる工夫	各学年に、問題解決的な学習の道筋を紹介する「深めよう」を配置し、様々な道德上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。
使用上の配慮等		家庭との架け橋となる工夫	各学年に、家庭生活や地域社会に関わりのある教材を配置し、家庭や知己社会との共通理解を深めることができるようになっている。
		地域の人々との連携や地域の行事との関連を図った学習活動の充実	紹介したい日本の文化や伝統を考える活動、日本の文化と伝統を守り、受け継いでいくために大切なことについて考える活動を取り上げ、生徒が実感を伴って学習できる教材を活用できるように配慮している。
		自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする工夫	各学年に、成長を振り返り課題や目標を見つける「マイプロフィール」や「心の四季」を配置し、自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。
		教材ごとのねらいやテーマの掲載状況	生徒が自ら主体的に課題を発見し、解決する資質や能力を培うことを重視しており、主題名をあえて教材中に記載していない。
		教材ごとの展開における発問の掲載状況	各教材末尾や特設ページ「深めよう」に発問を掲載し、生徒が主体的に考えを広げ、深められるようにしている。
その他		その他の特色	